

令和 5 年 6 月 6 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19H01621

研究課題名(和文) 教育学研究の国際展開の実態・構造・将来像に関する研究 学会の機能に注目して

研究課題名(英文) Research on Internationalization of Education Research: Focusing on the roles of academic associations

研究代表者

米澤 彰純 (Yonezawa, Akiyoshi)

東北大学・国際戦略室・教授

研究者番号：70251428

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は日本の教育学関連諸学会の国際化の現状、課題、そして可能性を明らかにするための調査と検討を実施した。その成果として、多くの学会および研究者の間で国際化が不十分であることが明確にされた。さらに、国際化へ向けた具体的な方策や戦略が不足していることも確認された。一方で、この状況を改善する可能性の道筋として、言語的な訓練を積極的に実施し、日本の教育学研究の特徴を活かした知的貢献を提供する戦略を明確にすることが示唆された。展望として、それらの過程を通じて各学会の国際化戦略を具体化・改善することが、日本の教育学関連諸学会の国際化の実現への可能性を切り開くことを論じた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

教育学研究の環境はグローバル化によって大きく変化し、その結果として、日本の教育学研究と教育学関連諸学会の国際活動のあり方を見直す必要性が増している。国際的な研究発信に必要な要素は、英文執筆の技術や知識だけでなく、自身の強みや特性を活用した国際コミュニティとの対話、そしてそれを通じた知的貢献である。本研究を通じて、教育学関連の諸学会がどのような状況で、どのような体制を用いて、国際化・国際展開・国際発信に取り組んでいるのかが明らかとなった。また、そのさらなる進展を阻む要因も同時に明らかになり、今後の具体的な改善策を示すことができた。

研究成果の概要(英文)：In this study, we conducted a survey and investigation to clarify the current situation, problems, and opportunities of the internationalization of academic societies related to educational research in Japan. As a result, the insufficient internationalization of many academic societies and researchers was revealed. Furthermore, it was confirmed that there is a lack of concrete measures and strategies for internationalization. On the other hand, as a possible way to improve this situation, it is suggested to clarify the strategy of actively implementing language training and making contributions through knowledge creation based on the active use of the inherent characteristics of education research and practice in Japan. As a prospect, the concrete internationalization strategies of each academic society through these processes will open up the possibility of realizing the internationalization of Japanese academic societies in the field of education research.

研究分野：教育社会学 高等教育研究

キーワード：教育学 学会 国際化 アジア 学術 教育学研究 人文社会科学 グローバル化

## 1. 研究開始当初の背景

日本の研究の国際競争力について社会の関心が高まるなか、日本の人文・社会科学全般の国際性について厳しい目が注がれてきた。人文・社会科学との重なりが大きい学際分野であり、その各分野が親学問とする人文・社会科学の問い直しの影響を受ける。また、比較・国際教育学など「国際」自体を学術的アイデンティティとする分野もあるものの、教育学研究の対象である教育の制度や実践の多くは各国の法制度・政治・文化に深く根ざし、自国の教育に関わる主題・概念・理論が学問的アイデンティティの中核をなしてきた。さらに、日本では、外国教育に関心が向けられる場合でも、先進事例を選択的・部分的に借用するか、あるいは国際開発・協力の実践と研究が広がりつつも、専ら地域研究として文化相対主義の視点に立つ記述を精緻化し、日本国内の視点を重視する研究と、その視点に基づく学会などの研究コミュニティの伝統が形作られてきた。

しかしながら、グローバル化、特に人の移動やコミュニケーションにおける国境の消滅は、これを支える教育のあり方および教育を対象とした研究の視点に転換をもたらし、現在は教育学関連の諸学会自身が「開国」を迫られる状況が生じている。例えば、教育政策と「国際」との関わりは、単なる海外の先進事例の部分的借用にとどまらず、同種の教育改革が世界同時に進行し、トランスナショナルな枠組みでの改革の動きが強まる(PISA、チューニング等)とともに、ニューカマー等を含め、自国民・言語・文化以外への対応や自国民の国外での学習や労働への接続などの、各国に共通する新たな課題が浮上してきた。

教育学の研究の領域においても、インターネットの普及により国境を越えた情報流通やコミュニケーションが日常の教育・生活現場にも広がっている。この状況下では、各国の教育学研究者が従来の先進社会・途上国といった枠組みとは関係なく、共通言語としての英語を通じて直接国際的な研究コミュニティに発信者として参加するようになる。そして、従来は国ごとに設立・形成されることの多かった教育学関連諸学会も、海外の関連学会との交流やネットワークの形成、世界・地域レベルの学会形成、以上を通じた各国の学会自身の国際化が急速に進行し、特に非英語圏の諸国では、自国語での研究活動・コミュニティと英語などの世界共通語での研究活動・コミュニティが並立、ときに緊張関係が生じている。

本研究の開始当時、この国際的な研究コミュニティへの参画という点で、日本の教育学研究とその基盤をなす諸学会の多くは立ち遅れている。従来の日本における教育学研究は、人文・社会科学のアプローチを取る分野を中心に、新しい理論や概念、アイデアなど、参照する知を欧米から翻訳を通じて導入しながらも、翻訳された用語を用いたり欧米の動きを規範化したりしながら目の前の現実を自国の言語で分析・考察するスタイルが支配的であり、結果として教育学研究とその基盤をなす教育学関連諸学会にドメスティックな性格を与えてきた。

私たちは、グローバル化による教育学研究の環境変化は、日本の教育学研究のあり方の見直しを強く迫ってきていると考え、研究活動の基盤となりネットワークの集積体である教育関連諸学会の国際的性格・役割に注目した。国際的な研究発信に必要なスキルやノウハウを研究者に習得させる場となったり、研究者に国際活動の機会を準備して国際的な発信力向上を支援したりすることは、個別の大学や政府以上に、研究の質や方法に専門的な見識を持つ集団である学会こそが主体的に対応する必要がある。また、広汎な国際的研究ネットワークの形成や、多数の国の研究者が参画する大規模プロジェクトの企画など、個別の研究者レベルでは困難な国際研究活動も、関連諸学会の組織的取組により可能性が広がる。

教育学関連の諸学会における学会レベルでの国際化・国際展開・国際発信への取組がどのような状況なのか、どのような体制でそれを進めているのか、そのさらなる進展を困難にしている要因は何なのか、また、諸学会間の連携の可能性と課題は何か。私たちは、これらの問いを、本研究の中心的な問いとして設定した。

## 2. 研究の目的

本研究課題では、教育学研究の基盤を担う教育学関連諸学会の国際化・国際展開・国際発信について、学会間ネットワークへの展望を含め、これまでの経緯と現状、将来展望の考察を、まさに教育学研究の視点から遂行することを目的として設定した。まず、大きな問いとして、教育学研究の学会レベルでの国際化・国際連携の現状と課題はいかなるものであり、同時にこのことが波及効果として教育学研究のあり方にどのようなインパクトを与えうるのか、を研究課題の核心に据えた。

本研究は、上記の課題を達成するために、次の4つの柱を立てて検討を進めた。

日本における教育学関連諸学会の国際化に向けた活動や体制の実態調査・分析

海外(特に非英語圏諸国における)教育学関連諸学会の国際活動の実態調査・分析

教育学関連諸学会の国際ネットワークや世界・地域レベルの国際学会の実態調査・分析

日本の学会とそのネットワークのさらなる国際化に向けた課題と方策についての考察

本研究は、以上の4つの柱の検討を通じ、教育学研究のあり方を、個別の課題や方法の面からではなく、研究知の生産の基盤（インフラ）とネットワークの集積体となっている学会に注目して、それを調査・分析の対象とする点に独創的な視点がある。いわば教育学研究についてのメタ的研究をめざした。

### 3. 研究の方法

上記に示したとおり、本研究の目的は、教育学関連諸学会の国際化・国際展開・国際発信の実態と課題を明らかにすることであった。これを達成するために、調査、分析、考察の3つの手段を用いて、先に示した4つの柱に沿って研究を進めた。

まず初めに、Covid-19のパンデミックの発生は、本研究の進行に深刻な影響を与えた。それは、国内外の教育学研究とそのプラットフォーム、教育学関連諸学会の構造を一変させ、特に国際面での挑戦を増大させた。しかし、この困難はまた、新たな可能性をも開き、オンラインコミュニケーションの活用という新たな研究方法を生み出す機会ともなった。

第一の柱は、日本の教育学関連諸学会の国際化の実態調査・分析である。具体的には、各教育学関連諸学会がどのように国際化を推進しているかを調査し、その結果を詳細に分析した。オンラインでのヒアリング調査は、教育関連学会連絡協議会に加盟する69学協会及び関連諸学会を検討した上で、特に教育学研究を学術的にリードしている主要11学会を選んで実施した。その上で、実施した調査とその分析結果から、教育学関連諸学会の国際化の現状と課題を明らかにした。

第二、第三の柱は、海外（特に非英語圏諸国における）教育学関連諸学会の国際活動の実態調査・分析と、教育学関連諸学会の国際ネットワークや世界・地域レベルの国際学会の実態調査・分析である。パンデミックの影響で現地での詳細な実態調査が困難になったが、中国、韓国、香港、台湾、ドイツの教育学会の代表者や海外協力者へのヒアリングにより、それぞれの教育学関連諸学会の国際活動の実態を把握することができた。また、教育学関連諸学会の国際ネットワークや世界・地域レベルの国際学会についても、学会の代表者や日本からの代表参加者等を対象としたオンラインでのヒアリング調査を通じて、その実態を明らかにすることができた。

第四の柱は、日本の教育学関連諸学会とそのネットワークのさらなる国際化に向けた課題と方策についての考察である。これを実現するために、本研究では、二つのアプローチを採用した。一つ目は、有識者をスピーカーとして招き、国際シンポジウムやセミナーを開催するというものである。これらのシンポジウムやセミナーは、日本教育学会や日本比較教育学会などの国内主要学会と提携して企画・開催した。また、世界教育学会（WERA）や北米比較・国際教育学会（CIES）などの国際学会とも連携した。これらのイベントでは、多様なバックグラウンドを持つ国内外の教育学研究者が登壇し、教育学研究の国際化と国際発信について議論した。

二つ目のアプローチは、若手研究者たちのワークショップを通じた対話である。これは、教育学研究の国際学術発信を目指す若手研究者たちがワークショップで互いの問題意識や課題を共有し、研究プロジェクトメンバーも関わりながら相互対話を通じて新たな視点と具体的な方策や展望を得ることを目指したものである。ワークショップを通じては、日本の教育学研究の国際化や国際発信の現状・課題・論点が明らかになり、その結果を基に若手研究者たちの英文学術論文投稿準備が進められた。また、分析結果をまとめた学術誌への出版や、日本教育学会での英語での課題研究を通じた国内外への発信も行った。

これらの研究方法は、Covid-19のパンデミックの影響下での新たな挑戦を背景に、教育学関連諸学会の国際化を推進するための有効な手段として考えられる。それらは、さまざまな困難にもかかわらず、教育学研究の国際展開の可能性を追求し、新たなネットワークの形成を促す機会となった。

### 4. 研究成果

本研究は、日本の教育学関連諸学会の国際化を支援するための一助となることを目指し、その現状と課題、可能性を明らかにするための調査と検討を行った。その結果、一部の学会や研究者の間では国際的な視点が重視されるようになりつつあるが、多くの学会や研究者の間ではそれが十分ではないこと、また、国際化や国際発信に向けた具体的な方策や戦略が不足していることが確認された。さらに、国際的な学術コミュニケーションにおいて、言語的な障壁が依然として大きな課題であることが明らかになった。

しかしながら、これらの課題は同時に新たな可能性を示している。すなわち、国際的なコミュニケーションのための言語的な訓練を積極的に行うこと、その際に日本の教育学研究の特徴を生かした知的貢献を提供する戦略を具体的な道筋をもって明確にすること、そして、その過程で各学会の国際化戦略を具体化・改善することが、日本の教育学関連諸学会の国際化を実現するための可能性を切り開くことにつながる。

今後は、本研究の結果をもとに、教育学関連諸学会がそれぞれの固有の文脈を踏まえながら連携・協力し、具体的なアクションプランを策定し、実施することが求められる。それには、各学

会が自身の特性と国際的な課題を認識し、それに応じた具体的な対策を講じる必要がある。そのためには、さらなる研究と情報共有、そして継続的な対話が必要となるだろう。これらの活動は、本研究が描いた「日本の教育学関連諸学会の国際化」のビジョンを実現するための道筋を示すものであると期待する。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 6件 / うちオープンアクセス 19件）

|                                                                              |                   |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa                                                  | 4. 巻<br>-         |
| 2. 論文標題<br>Japan: The Changing Role of Higher Education for Nation-Building  | 5. 発行年<br>2023年   |
| 3. 雑誌名<br>The Oxford Handbook of Higher Education in the Asia-Pacific Region | 6. 最初と最後の頁<br>116 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1093/oxfordhb/9780192845986.013.30            | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                       | 国際共著<br>-         |

|                                                                      |                 |
|----------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa                                          | 4. 巻<br>-       |
| 2. 論文標題<br>Japan's Higher Education Policies under Global Challenges | 5. 発行年<br>2023年 |
| 3. 雑誌名<br>Asian Economic Policy Review                               | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1111/aep.12421                        | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                               | 国際共著<br>-       |

|                                                                                                                                                                                        |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa; Sae Shimauchi; Jing Liu                                                                                                                                   | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>Transformation of university missions-from nation-building to a focus on common global challenges reflections from East Asia, under the risk of being "lost in translation" | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>International Encyclopedia of Education(Fourth Edition)                                                                                                                      | 6. 最初と最後の頁<br>21-28 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/b978-0-12-818630-5.02004-2                                                                                                                         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                                                                                                                 | 国際共著<br>該当する        |

|                                                               |                 |
|---------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純                                                | 4. 巻<br>18      |
| 2. 論文標題<br>ステークホルダー・エンゲージメントと学校法人・私立大学の公共性 学校法人制度改革特別委員会参加体験記 | 5. 発行年<br>2022年 |
| 3. 雑誌名<br>大学マネジメント                                            | 6. 最初と最後の頁<br>4 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                        | 国際共著<br>-       |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純                         | 4. 巻<br>18         |
| 2. 論文標題<br>大学のダイバーシティ経営と大学経営のダイバーシティ   | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>大学マネジメント                     | 6. 最初と最後の頁<br>9-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                               |                       |
|-----------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純                                | 4. 巻<br>73(6)         |
| 2. 論文標題<br>人文科学・社会科学の分野における英語論文執筆 教育学分野を事例として | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>情報の科学と技術                            | 6. 最初と最後の頁<br>212-218 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)        | 国際共著<br>-             |

|                                              |                      |
|----------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純 北村友人 杉村美紀                     | 4. 巻<br>66           |
| 2. 論文標題<br>特集の趣旨 公開シンポジウム 教育学研究の国際化と比較教育学の役割 | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>比較教育学研究                            | 6. 最初と最後の頁<br>98-106 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)       | 国際共著<br>該当する         |

|                                                                                                          |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Edward Vickers                                                                                 | 4. 巻<br>66            |
| 2. 論文標題<br>OPAC Coloniality and the Politics of Comparative Education in Asia : re- 'positioning' Japan? | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>比較教育学研究                                                                                        | 6. 最初と最後の頁<br>141-159 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                                   | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                      |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Maria Manzon                                                                               | 4. 巻<br>66            |
| 2. 論文標題<br>Comparative education and education research : Histories, theory construction and futures | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>比較教育学研究                                                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>107-123 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                       | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                               | 国際共著<br>-             |

|                                                                                            |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Jeremy Rappleye                                                                  | 4. 巻<br>66            |
| 2. 論文標題<br>Japan's Comparative Education Contribution to Global Research : Field as Method | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>比較教育学研究                                                                          | 6. 最初と最後の頁<br>160-176 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                             | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                     | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                                                                 |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Terri Kim                                                                                                                                             | 4. 巻<br>66            |
| 2. 論文標題<br>How has Comparative Education research contributed to the internationalization of education research and its academic societies under globalization? | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>比較教育学研究                                                                                                                                               | 6. 最初と最後の頁<br>124-140 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                                                  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                                                                                          | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                                                     |                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa, et al.                                                                                                                 | 4. 巻<br>17        |
| 2. 論文標題<br>Creating Educational Research as International Knowledge Fostering early-career educational researchers through international networking | 5. 発行年<br>2023年   |
| 3. 雑誌名<br>Educational Studies in Japan                                                                                                              | 6. 最初と最後の頁<br>1-4 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                                      | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                                                                              | 国際共著<br>該当する      |

|                                                   |                   |
|---------------------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純他                                   | 4. 巻<br>90(1)     |
| 2. 論文標題<br>国際知としての教育学研究を創る 若手教育学研究者の育成と国際ネットワーキング | 5. 発行年<br>2023年   |
| 3. 雑誌名<br>教育学研究                                   | 6. 最初と最後の頁<br>1-4 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>該当する      |

|                                                                              |                       |
|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa                                                  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>Japan: The Changing Role of Higher Education for Nation-Building  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>The Oxford Handbook of Higher Education in the Asia-Pacific Region | 6. 最初と最後の頁<br>629-C30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1093/oxfordhb/9780192845986.013.30            | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                        | 国際共著<br>-             |

|                                                                      |                    |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa                                          | 4. 巻<br>18(2)      |
| 2. 論文標題<br>Japan's Higher Education Policies under Global Challenges | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>Asian Economic Policy Review                               | 6. 最初と最後の頁<br>1-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1111/aepr.12421                       | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                | 国際共著<br>-          |

|                                                                                                                                                                                        |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa;Sae Shimauchi;Jing Liu                                                                                                                                     | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>Transformation of university missions-from nation-building to a focus on common global challenges reflections from East Asia, under the risk of being "lost in translation" | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>International Encyclopedia of Education(Fourth Edition)                                                                                                                      | 6. 最初と最後の頁<br>21-28 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/b978-0-12-818630-5.02004-2                                                                                                                         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                                                                                                                                  | 国際共著<br>該当する        |



|                                                     |                       |
|-----------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>木村元, 米澤彰純                                 | 4. 巻<br>88(1)         |
| 2. 論文標題<br>日本教育学会Web座談会 パンデミックと教育 : 学びを支えるために何が必要か。 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>教育学研究                                     | 6. 最初と最後の頁<br>130-133 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純                         | 4. 巻<br>626         |
| 2. 論文標題<br>コロナ禍の高等教育国際化とデジタル化          | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>IDE : 現代の高等教育                | 6. 最初と最後の頁<br>58-61 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                         |                       |
|-----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>李敏                            | 4. 巻<br>14            |
| 2. 論文標題<br>中国の教育関連諸学会の国際展開 : 中国教育学会を中心に | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>信州大学総合人間科学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>123-130 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                                                          |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa, Christopher D Hammond, Thomas Brotherhood, Miwako Kitamura, Fumi Kitagawa                                                   | 4. 巻<br>42(2)         |
| 2. 論文標題<br>Evolutions in knowledge production policy and practice in Japan: a case study of an interdisciplinary research institute for disaster science | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>Journal of Higher Education Policy and Management                                                                                              | 6. 最初と最後の頁<br>230-244 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/1360080X.2019.1701850                                                                                                | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                                                                                                    | 国際共著<br>該当する          |

|                                                                                                      |                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Naoki Umemiya, MaiToda & Akiyoshi Yonezawa                                                 | 4. 巻<br>10          |
| 2. 論文標題<br>International inter-university networks and higher education development in STI in Africa | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>アフリカ教育研究                                                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>31-49 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                       | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                               | 国際共著<br>-           |

|                                                                                  |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa                                                      | 4. 巻<br>18(1)       |
| 2. 論文標題<br>Challenges of the Japanese higher education Amidst population decline | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>Globalisation, Societies and Education                                 | 6. 最初と最後の頁<br>43-52 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/14767724.2019.1690085                        | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                           | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 3件)

|                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>米澤彰純他                                                                                                                                    |
| 2. 発表標題<br>Creating Educational Research as International Knowledge Fostering early-career educational researchers through international networking |
| 3. 学会等名<br>日本教育学会 (招待講演)                                                                                                                            |
| 4. 発表年<br>2022年                                                                                                                                     |

|                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>米澤彰純他                                                                           |
| 2. 発表標題<br>Japan's Comparative Education Contribution to Global Research : Field as Method |
| 3. 学会等名<br>比較教育学会 (招待講演)                                                                   |
| 4. 発表年<br>2022年                                                                            |

|                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Akiyoshi Yonezawa, William Lo, Wu-hsun Yang, Yuto Kitamura                                                                                |
| 2. 発表標題<br>International Activities, International Exchanges, and the Internationalization of Education Research and Education Research Associations |
| 3. 学会等名<br>World Education Research Association (招待講演) (国際学会)                                                                                        |
| 4. 発表年<br>2022年                                                                                                                                      |

|                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Norzaini Azman Wenqin Shen Akiyoshi Yonezawa                                                                   |
| 2. 発表標題<br>Higher education and the pandemic in East and Southeast Asia: Are there models here for the rest of the world? |
| 3. 学会等名<br>Centre for Global Higher Education Seminar 151 (招待講演) (国際学会)                                                   |
| 4. 発表年<br>2020年                                                                                                           |

|                                                          |
|----------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>廣田照幸、米澤彰純、Seoung Yui KIm, Binglin Zhong, 中村雅子 |
| 2. 発表標題<br>東アジアにおける教育改革：教育学会の国際的連携の展望                    |
| 3. 学会等名<br>日本教育学会日中韓学長シンポジウム (招待講演) (国際学会)               |
| 4. 発表年<br>2019年                                          |

〔図書〕 計6件

|                                                               |                 |
|---------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa; Sae Shimauchi                    | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>Springer                                            | 5. 総ページ数<br>22  |
| 3. 書名<br>The Reinvention of Liberal Learning Around the Globe |                 |

|                                                                         |                 |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>Lili Shi;Akiyoshi Yonezawa                                    | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>Springer                                                      | 5. 総ページ数<br>26  |
| 3. 書名<br>Student and Skilled Labour Mobility in the Asia Pacific Region |                 |

|                                               |                 |
|-----------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>米澤, 彰純;嶋内, 佐絵;吉田, 文                 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>明石書店                                | 5. 総ページ数<br>309 |
| 3. 書名<br>学士課程教育のグローバル・スタディーズ : 国際的視野への転換を展望する |                 |

|                                                                                                                                  |                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>Rmulo Pinheiro, Elizabeth Balbachevsky, Pundy Pillay, Akiyoshi Yonezawa                                                | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>Palgrave Macmillan                                                                                                     | 5. 総ページ数<br>373 |
| 3. 書名<br>The Impact of Covid-19 on the Institutional Fabric of Higher Education: Old Patterns, New Dynamics, and Changing Rules? |                 |

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>米澤彰純             | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>大学改革支援・学位授与機構    | 5. 総ページ数<br>25  |
| 3. 書名<br>大学の国際化・国際戦略の課題と展望 |                 |

|                                                                                                               |                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>Akiyoshi Yonezawa, Yizhou Fan, Ran Nakao, Masataka Murasawa, Shinji Matsumiya                       | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>Routledge                                                                                           | 5. 総ページ数<br>14  |
| 3. 書名<br>The Performance of Asian Higher Education Understanding Productivity Across Institutions and Systems |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>日中韓教育学会会長シンポジウムを開催<br/> <a href="https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyoiku/87/1/87_112/_article/-char/ja/">https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyoiku/87/1/87_112/_article/-char/ja/</a><br/>         連続オンライン座談会第4回「世界から見たポスト/ウィズ・コロナの教育展望」開催報告<br/> <a href="http://www.jera.jp/20200818-1/">http://www.jera.jp/20200818-1/</a></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                                              | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                    | 備考 |
|-------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|----|
| 研究分担者 | R a p p l e y e J e r e m y<br><br>(Rappleye Jeremy)<br><br>(00742321) | 京都大学・教育学研究科・准教授<br><br><br><br>(14301)   |    |
| 研究分担者 | 廣田 照幸 (広田照幸)<br><br>(Hirota Teruyuki)<br><br>(10208887)                | 日本大学・文理学部・教授<br><br><br><br>(32665)      |    |
| 研究分担者 | 松浦 良充<br><br>(Matsuura Yoshimitsu)<br><br>(30209499)                   | 慶應義塾大学・文学部(三田)・教授<br><br><br><br>(32612) |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                          | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                            | 備考 |
|-------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 北村 友人<br><br>(Kitamura Yuto)<br><br>(30362221)     | 東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・教授<br><br><br><br>(12601)   |    |
| 研究分担者 | 石川 裕之<br><br>(Ishikawa Hiroyuki)<br><br>(30512016) | 京都ノートルダム女子大学・国際言語文化学部・准教授<br><br><br><br>(34312) |    |
| 研究分担者 | 李 敏<br><br>(Li Min)<br><br>(30531925)              | 信州大学・学術研究院総合人間科学系・准教授<br><br><br><br>(13601)     |    |
| 研究分担者 | 松河 秀哉<br><br>(Matsukawa Hideya)<br><br>(50379111)  | 東北大学・高度教養教育・学生支援機構・講師<br><br><br><br>(11301)     |    |
| 研究分担者 | 鎌田 武仁<br><br>(Kamata Takehito)<br><br>(50869518)   | 上智大学・上智大学・助教<br><br><br><br>(32621)              |    |
| 研究分担者 | 山田 浩之<br><br>(Yamada Hiroyuki)<br><br>(60258324)   | 広島大学・人間社会科学研究科(教)・教授<br><br><br><br>(15401)      |    |
| 研究分担者 | 森下 稔<br><br>(Morishita Minoru)<br><br>(60300498)   | 東京海洋大学・学術研究院・教授<br><br><br><br>(12614)           |    |
| 研究分担者 | 山名 淳<br><br>(Yamana Jun)<br><br>(80240050)         | 東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・教授<br><br><br><br>(12601)    |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                   | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)              | 備考 |
|-------|---------------------------------------------|------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 高山 敬太<br>(Takayama Keita)<br><br>(50849411) | 京都大学・教育学研究科・教授<br><br>(14301)      |    |
| 研究分担者 | 油布 佐和子<br>(Yufu Sawako)<br><br>(80183987)   | 早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授<br><br>(32689) |    |

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

|                               |                    |
|-------------------------------|--------------------|
| 国際研究集会<br>日本教育学会連続オンライン座談会第4回 | 開催年<br>2020年～2020年 |
|-------------------------------|--------------------|

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関                 |                           |      |  |
|---------|-------------------------|---------------------------|------|--|
| 中国      | 香港教育大学                  | 國立暨南國際大學                  | 香港大学 |  |
| 英国      | University of Oxford    | University College London |      |  |
| ノルウェー   | University of Agder     |                           |      |  |
| ブラジル    | University of Sao Paulo |                           |      |  |
| 南アフリカ   | Wits University         |                           |      |  |
| 中国      | 北京大学                    | 北京師範大学                    |      |  |
| 韓国      | 烏山大学                    | ソウル大学                     |      |  |
| 米国      | University of Arizona   |                           |      |  |
| ドイツ     | ハンブルグ大学                 |                           |      |  |